

平成 27 年 5 月 13 日

大学関係者各位

第 34 回大学職員「人間ネットワーク」運営委員会

第 34 回 大学職員人間ネットワーク【6/27 京都】のご案内

第 34 回大学職員人間ネットワークを以下のとおり実施いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催テーマ 「大学の使命第 7 弾」

『障がい学生支援と障害者差別解消法を考える～合理的配慮とは～』

基調講演： 村田 淳氏（京都大学学生総合支援センター障害学生支援ルーム
チーフコーディネーター〈助教〉）

演 題： 「大学に求められる障害学生支援の現在」

開催日時 平成 27 (2015) 年 6 月 27 日 (土) 12:00～（ながれの詳細は次頁をご覧ください）

会 場 京都学園大学 京都太秦キャンパス（京都市右京区山ノ内五反田町 18 番地）

参加費 研修会（会員：無料 一般：1,500 円）

情報交換会 1（会員/一般：5,000 円）

※参加費は当日受付でお支払いください

※情報交換会 2 次会（費用別途）も計画しております

内容詳細 次ページをご覧ください

参加申込締切：平成 27 年 6 月 12 日（金） [次頁の 申込み URL](#) からお願いします

≪第 34 回 開催趣旨≫

「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。」

世界人権宣言の第 1 条の条文であるが、生まれながらや後天的に心身に障がいを抱える人々も多く存在し、社会生活や学業・就労において困難に直面している現実があります。また、昨今は心に問題を抱えて仲間づくりが出来ない若者も少なからず見受けられ、大学界でも大きな課題となっています。

平成 28 年 4 月 1 日に施行される「障害者差別解消法」では、国・地方公共団体に対する様々な義務が、また民間団体においても努力義務として多様な配慮が求められることとなります。

この法令に基づき、心や身体に困難を抱える学生の修学や学生生活に対して、学生が求める支援や配慮についてどのように対応・提供できるかについては、学生と大学との双方の合意点を見出すことが肝要となり、この点に関してが「合理的配慮の実施」ということとなります。

私たちの大学に入学を希望する様々な困難を有する学生に対して、“入学してよかった”と感じてもらえる支援体制の構築は急務です。今回はこの点について、学びたいと思います。

基調講演では村田淳氏より「大学に求められる障害学生支援の現在」という内容で講演をいただき、つづくグループディスカッションでは障がい学生支援について議論し、私たちも理解を深めていきたいと思ひます。

本会は 17 年前、学びの選択肢がさほど多くなかった時期に、「サロン」的な雰囲気と人とのつながりをコンセプトとして誕生しました。今回は個々人のキャリア成長について、サロンの中で皆様と創発的な学びの場を共有したいと思ひます。どうぞお気軽にご参加くださいますようご案内申し上げます。

問い合わせ先 大学職員「人間ネットワーク」

企画主幹：竹山優子 takeyama(a)chikushi-u.ac.jp

《ながれ（6月27日）》

京都学園大学内での受付場所・研修教室等は、当日掲示にてご案内いたします。

当日の食堂営業は10時～14時。コンビニも設置されています。

<http://www.kyotogakuen.ac.jp/access/UzumasaCampus/>

12:00— キャンパスツアー（希望者は受付前までお越しください）

12:30— 受付開始（参加費をお支払いください）

◆第1部 研修

13:00—13:10 開会

13:10—14:20 基調講演 村田淳氏（京都大学学生総合支援センター障害学生支援ルーム
チーフコーディネーター〈助教〉）

「大学に求められる障害学生支援の現在」

14:35—16:50 グループディスカッション、総括

16:50—17:00 閉会、記念撮影

～移動・チェックインなど～

◆第2部 情報交換会

18:00—20:30 情報交換会1 西院「海鮮・野菜・地酒 居酒屋 宴」

21:00— 情報交換会2（西院もしくは四条大宮）

《アクセス（6/27）》

京都学園大学 12:00～

京都市営地下鉄東西線「太秦天神川」より徒歩3分 <http://new.kyotogakuen.ac.jp/campus/uzumasa/>

情報交換会1 「海鮮・野菜・地酒 居酒屋 宴」 18:00～20:30

京都市右京区西院東淳和院町1-1 アフレ西院 B1 075-315-2722

<http://r.gnavi.co.jp/3fh7bb9r0000/menu1/>

《オプションツアー（6/28） および宿泊情報について》

詳細はページ後半の「2つのご案内」をご参照の上、オプションツアーご参加の方は、以下の参加申込み項目に反映をおねがいたします。

《参加申込》 ※受付は終了いたしました。なお今後の変更・追加等につきましては、直接 [takeyama\(a\)chikushi-u.ac.jp](mailto:takeyama(a)chikushi-u.ac.jp) (竹山優子) までメールをお願いいたします。

●お願い 次の点についてご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 参加者間の交流促進のため、資料として参加者名簿を配布いたします（項目は、所属大学名・部署名・氏名・メールアドレスです）。予めご了承ください。
- ② 会員の方は身分証になりますので必ず会員証をご持参ください。
- ③ 皆さまの大学における障がい学生支援について、参考事例があればご紹介ください。



【大学職員「人間ネットワーク」の概要】

【設立趣旨】

我が国の私立大学においては、約半数が定員割れの状況に陥り、大学職員が激動の時代に対してどのように対処すべきかを、所属大学だけで解決していくには大変難しくなってきた。言い換えれば従来の“本学”意識から脱却して、各私立大学職員の相互理解を深めていくことが不可欠であると考え、私立大学職員同士が今まで以上に自由に、そして活発な意見交換ができる環境が必要であると 1998 年（平成 10 年）に有志私立大学職員により設立されたのが本会の始まりである。

私ども大学職員「人間ネットワーク」は、従来の情報提供型の研修会ではなく、参加者の国公私大、教職員の枠組みを超えて相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士が深く突っ込んだ意見交換をするにより自己啓発を促し、各人が自在にコントロールできる資源の一つとして「人的ネットワーク」を提供することが目的である。

今現在それぞれの大学において直面する問題は多様化してきており、自組織のみで思考し解決していくという状況ではなくなっている。日本の大学が、国公私大の枠組みだけでなく、大学間の垣根を越え真剣に議論し、共生する時代の到来であると考えた時、大学職員は大学職員の立場で“大学職員”による“大学職員のため”の人的情報ネットワークが必要であり、そのために大学職員「人間ネットワーク」の存在が重要な位置づけとなってくるであろう。

故に多くの大学職員の方々にお集まりいただき、共に英知を出し合いながら問題解決への手がかりとなればと考える。大学職員「人間ネットワーク」は、大学が健全に共生できるための大学職員による活発な意見交換の場と成りうることを目指し、より多くの志を同じくする大学職員の方々にお集まりいただきたい。

(2015 年 5 月)

【これまでの活動履歴】

	開催地	開催日	幹事校	主な討議テーマ
第1回	愛知県	平成10年12月		21世紀に向けての私立大学職員ネットワークのあり方について
第2回	東京都	平成11年6月	日本大学理工学部	履修登録システムの事例報告
第3回	京都府	平成11年12月	龍谷大学・京都外国語大学	FD活動についての現状報告
第4回	福岡県	平成12年7月	西南学院大学	病める学生達の心身ケアについて
第5回	神奈川県	平成12年12月	神奈川県立大学	「著作権」についての理解
第6回	兵庫県	平成13年6月	甲子園大学	「大学事務の情報化」
第7回	静岡県	平成13年12月	東海大学海洋学部	「学生支援」をテーマに多角的に検証
第8回	愛知県	平成14年6月	金城学院大学	今後の学籍のあり方とは
第9回	東京都	平成14年12月	明星大学	入学前提教育の諸検討
第10回	京都府	平成15年6月	佛教大学	これからの大学職員像とは
第11回	東京都	平成15年12月	大東文化大学	学生のキャリア形成について
第12回	岡山県	平成16年6月	ノートルダム清心女子大学	学生のキャリア形成について（続）
第13回	東京都	平成16年12月	桜美林大学	大学職員としての問題解決について
第14回	熊本県	平成17年6月	熊本学園大学	個人情報保護法への対応について
第15回	大阪府	平成17年12月	大阪工業大学	高大連携の現状と課題
第16回	新潟県	平成18年6月	新潟国際情報大学	地域の中の大学
第17回	福岡県	平成18年12月	九州産業大学	これからの大学職員像を考える
第18回	東京都	平成19年6月	大正大学	高等教育のデザインと大学人の役割
第19回	広島県	平成19年12月	広島国際大学	これからの学生支援のあり方と大学職員の役割
第20回	静岡県	平成20年8月	10周年記念大会	大学自主防災論
第21回	京都府	平成20年12月	京都文教大学	私立大学「働き場」のメンタルヘルス
第22回	福岡県	平成21年7月	西南学院大学	『「カネ」と「教育」について考える』
第23回	東京都	平成21年11月	東京農業大学	『「カネ」と「教育」について考える PART2』
第24回	岡山県	平成22年5月	就実大学	『大学職員力を考える』
第25回	愛知県	平成22年10月	東海学園大学	『大学職員力を考える PART2』
第26回	兵庫県	平成23年6月	大手前大学	『大学自主防災論』
第27回	東京都	平成23年12月	玉川大学	『大学職員の育成について考える -国立大学の事例からの考察-』
第28回	福岡県	平成24年6月	九州国際大学	大学の使命 第1弾 『学生の質保証のためのカリキュラム』
第29回	愛知県	平成24年12月	中部大学	大学の使命 第2弾 『大学職員道』-大学を変える、職員が変わる-
第30回	大阪府	平成25年6月	追手門学院大学	大学の使命 第3弾 『学士課程答申以降の大学改革に果たす職員の役割』
第31回	東京都	平成25年12月	国士舘大学	大学の使命 第4弾 『おちこぼれ大学職員』・『ワールドカフェ』
第32回	福岡県	平成26年6月	九州大学（大橋キャンパス）	大学の使命 第5弾 『職員があらためて知ること・問うこと』
第33回	愛知県	平成26年12月	椋山女学園大学	大学の使命 第6弾 『わたしたち職員が“育つ”学びとは』

2つのご案内

1) 6月27日(土)の宿について

京都四条大宮付近のホテルをお勧めします。

推奨ホテル：東横イン京都四条大宮、アークホテル京都、ヴィラージュ京都、
※週末のためホテルの予約が取り難くなるのが予想されます。早めのご予約をお勧めします。

2) 6月28日(日)のオフショナルトゥアーについて

京都の新しい観光スポットを訪ねる

今回の京都オフショナルトゥアーは、京都の新しい観光スポットとして開発が進む梅小路公園
界隈をSLの動態保存を行っている「蒸気機関車館」・使用率100%で人工海水を利用した日
本初の水族館「京都水族館」、そして龍谷大学「龍谷ミュージアム」を見学します。
ちなみに、2016年春には「京都鉄道博物館」も「蒸気機関車館」の横にオープンします。

<日本最大級の内陸型水族館「京都水族館」>



<梅小路蒸気機関車館>



<龍谷大学「龍谷ミュージアム」>



費用：約 3,000 円（昼食代）※交通費・入館料は含みません。各自でお支払ください。

集合：京福電車（嵐電）「四条大宮」駅前に 9 時 30 分集合をお願いします。

※京都駅のコインロッカーに荷物を預ける方は 9 時集合とします。

行程：

時間	内容	参考料金	備考
※9：00	嵐電四条大宮駅前集合		京都駅荷物預け組
※9：05	四条大宮出発	230 円	
※9：40	京都駅出発	230 円	
9：30	嵐電四条大宮駅前集合		
9：35	四条大宮出発	230 円	
9：50	七条大宮到着		
10：00	※梅小路機関車館	410 円	自由見学
	※京都水族館	2,050 円	
	※京都市中央市場散策も可		
11：30	京都水族館前集合		
11：45	龍谷大学「龍谷ミュージアム」		
12：30	和バル Ginyuba kyoto	3,000 円	人数により変更有
14：00	一次解散		
14：30	八条口みやこみち		
16：00	解散		